

復活節第2主日の説教

金 大烈 神父 2010年4月11日(日)

《確信》

おはようございます。

ある町の市場の近くに広場がありました。そこに人々が集まり、その中にカトリック教会の紹介をしているグループと、向かい側には薬を売っている人がいました。両方のグループとも朝から晩までその場所において、自分たちの目的を達成しようとしていました。ところが、カトリックのグループはパンフレットを配ろうとしても誰も近寄ってきませんでした。しかし向かい側の薬売りは声高らかに薬を売り沢山の人が集まって真剣に話を聞いて薬を買って行きました。

夕暮れになりお互い帰り支度を始めた時カトリック信者のグループの一人が薬売りの人に尋ねました。「あなたも、私達も一日中同じ条件でこの場所にいるのに、私達の所に人は寄って来なかった、しかしあなたの所は人が沢山集まって薬を買って行くのは何故でしょうか？その秘訣を教えてください。」と質問しました。するとその薬売りは「実は、この薬は偽物です。しかし私は本物の様に売っています。あなたは本物を持っているのに関わらず確信を持っていなかったから誰も来なかったのでしょうか。」と答えました。

この話はとても意味の深い話しです。今年私達は宣教の年として各自が一人ずつカトリック信者に導きましようとお願ひした事を覚えていると思います。そしてその宣教についてセミナーやプログラムを今計画中です。

皆様はどの位イエス様に確信を持っていますか？

自分の確信が無くて他の人にどのようにイエス様を伝える事が出来るでしょうか？商売も確信がなかったら絶対できません。商売する時にこれは損をするかも知れないけど絶対売れる。失敗する可能性はあるかも知れないけど可能性はあるという気持ちで勝負をかけます。そういう気持ちでないとこの時代商売は出来ません。

私達は信仰の内に生きています。イエス様について疑う人はいないと思います。神様の子で自分はいつも信仰の内で生きて来たと思ひながらイエス様を知らない人達に手を伸ばせない理由は何でしょうか？やはり《確信》の問題だと思ひます。皆様の心が握っている物が本物と思えれば手を伸ばす事が出来ると思ひます。

今日イエス様はどのようなあいさつをされましたか？

「あなた方に平和があるように。」と言われました。それは、皆様の中に平安の心が見えられると、本当の平安の心を持っていない人々が近づいてその平和はどのように得られるのでしょうかと聞くはずで、それが《確信》です。皆様自信を持って下さい。自分のその信仰がこの世の何によっても変わらないと言う宝物・信念・プライドとして持っていてください。そういう気持ちが出来れば自然に

宣教師になれます。

今日の福音（ヨハネ 20・19-31）でイエス様がこのようにもおっしゃいました。「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」イエス様が、復活されてから最初の命令は「あなた方の中に平和があるように」と二番目は「私はあなたがたを遣わす。」です。この二つに私達が従順する事が出来ないと他の事は意味が無いかもしれません。この二つについてもう一度考える一週間になって頂きたいと思います。

ありがとうございました。